

第3回 ケアマネとリハ職の情報共有の練習会

令和3年11月8日(月) 19時-20時30分 姫路市総合福祉会館



感染予防対策として、グループワークはフェイスシールド着用で行いました

リハ職が書いた情報提供書(リハビリテーション計画書)の内容をケアマネジャーとリハビリ職と一緒に読み取ることで、

《ケアマネ》生活機能の今後の可能性(将来予測)や、生活上の注意をどうやって確認するか

《リハ職》どんな情報をどのように伝えとケアマネが理解しやすいのか

について考え、深めていくことを目的とした練習会になります。

第3回は、ケアマネジャー24名、リハビリ職25名、他専門職2名、ご参加いただきました。

今回は、作業療法士会より事例(リハビリテーション計画書)を提供していただき、9つのグループに分かれて話し合いを行いました。

日常の業務では、顔を合わせてゆっくり話をする機会が少ないケアマネジャーさんとリハ職さんですが、和やかな雰囲気の中、笑顔を変えながら活発な意見交換が行われていました。



ケアマネジャーさんとリハ職さんが一緒に計画書に記載された情報について直接確認し合い、意見交換をする中で、

- ・《ケアマネ》「本人や家族の希望」を具体的に情報提供する
→ 《リハ職》計画書の具体的な方針・目標設定に反映できる
- ・《リハ職》CM情報に専門的視点での予測も取り入れた具体的な方針・目標を計画書に記述する
→ 《ケアマネ》その後のケアプランの目標に反映できる
という気づきにもつながりました。

《参加者アンケート 回答(一部抜粋)》

- ・もっと具体的な目標設定を行い、疑問・質問が出た時には直接セラピストの方に連絡・面談等していきたい(ケアマネ)
- ・プラン作成の責任を改めて感じた。経過を共有することで新たな目標や目指す生活が見えてくると感じた(ケアマネ)
- ・認知機能HDS-R検査を定期的にとっていただいていることに驚きました。今後経過確認したいです(ケアマネ)
- ・目標に対して、具体的なプロセスと内容をなるべく詳しく伝えていけるようにしたい(リハ職)
- ・お互いに情報交換を繰り返すことで目的を明確にしていこうと思いました(リハ職)
- ・できることばかりを注目していましたが、できなくなることを知りたいと意見がありましたので疾患にもよりますがプラス面、マイナス面ともに伝えていけたらと思います(リハ職)
- ・報告書だけでなく、具体的なエピソードを含め、利用者の情報の共有をしたいと思います(社会福祉士)

「ケアマネとリハ職の情報共有の練習会」は次年度も開催予定です(日時未定)
今後の研修会情報につきましては、センターのホームページでもご確認いただけます